

地球惑星科学委員会（第26期・第11回）

議事要旨

1. 日 時 令和7年10月29日（水）12:00～13:00

2. 会 場 オンライン

3. 出席者 沖大幹・小口高・倉本圭・三枝信子・佐竹健治・中村卓司・

西弘嗣・堀利栄・矢野桂司・薮田ひかる

4. 議 題

- （1）地球惑星科学の夢ロードマップについて
- （2）次期会員・連携会員の選考について
- （3）学術フォーラムのフォローアップについて
- （4）その他 分科会報告・年末の合同分科会日程

5. 配布資料

資料1：夢ロードマップ（ユニオンセッション提案）

資料2：学協会長会議（11月18日）

資料3：学術フォーラムのフォローアップについて

資料4：国際連携分科会（第26期・第9回）議事要旨

資料5：社会貢献分科会（第26期・第6回）議事要旨

資料6：地球・人間圏分科会社会水文学小委員会（第26期・第3回）議事要旨

追加資料：次世代育成分科会（第26期・第7回）議事次第

6. 議事概要

（1）地球惑星科学の夢ロードマップについて

- ・倉本委員から、地球惑星科学の夢ロードマップ改訂に関して、来年のJpGUユニオンセッションを提案した（資料1）ことが報告された。その後、今後の進め方について議論した。これからJpGUのユニオンサイエンスボード会議を通じて、意識合わせや改訂のスケジュールなどを調整していく予定。セッションによって、ロードマップの詳細さや、改訂へ向けての取り組み

方が大きく異なることが指摘された。会員・連携会員からの意見は、年末に予定されている合同分科会などで拾い上げ、来年のJpGUなどで一般の研究者の意見も取り入れる予定。

- ・未来の学術振興構想のアップデートについては、前日の学術会議資料によれば、新規案件が24件、前期掲載184件中175件が継続掲載希望（うち改訂あり123件、改訂なし52件）近日中に委員会が開かれ、中村・倉本両委員が出席するので、地球惑星科学関係の情報については本委員会に報告することとした。

（2）次期会員・連携会員の選考について

- ・次期会員・連携会員の選考については、前日に開かれた日本学術会議総会において会長から案の紹介があったが、まだ確定はしていない模様。学協会からの推薦（前回までの情報提供とは異なる）は1月頃から受け付ける見込みなので、11月18日に開催される学協会会長会議（資料2）では、その旨を佐竹委員長から説明する予定。
- ・日本学術会議が分担金を支払っている国際団体関係の分科会・小委員会については、次期についても、今期のうちに立ち上げられる可能性が高い。その場合、第26・27期の会員で分担して、担当者（世話役）などを決める必要がある。

（3）学術フォーラムのフォローアップについて

中村委員から、7月12日に開催した学術フォーラム「急激に変わりゆく地球環境と国際情勢：地球惑星科学の国際連携・国際協調」のフォローアップについて、資料3に沿って説明があった。JpGUのニューズレター（JGL）の11月号に開催報告が掲載される。東京地学協会から刊行されている地学雑誌への報告について、小特集（報告5件程度）として、報告を希望する分科会・小委員会を募集する。原稿〆切は3月頃とし、来期（第27期）初めの発刊を目指す。

（4）その他

・分科会報告

中村委員、佐竹委員、沖委員、堀委員から、それぞれ資料4、5、6、追加資料に基づいて、各分科会の開催報告があった。また、今後の分科会（12/2に地球・人間圏分科会に開催予定、2/23に学術シンポジウムを開催すべく準備中。）

・年末の合同分科会日程

年末に開催する合同分科会では、来期の会員・連携会員（制度・選考）及び夢ロードマップについての議論が中心となる。多くの連携会員に意見を聞くには2～3時間必要となりそうである。12月26日と27日について、連携会員の日程調整を行う。

以上